

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

社是・経営理念をベースにブレることなく経営を行う 坂本 光司 (法政大学教授)

1. 決して成長市場とはいえない寒天業界で 50 年近く増収増益を果たしてきた「奇跡の会社」がある。1958 年に創業した伊那食品工業(株) (本社・長野県伊那市) である。私は、この会社の社是と経営理念をみたとき、率直に言って、感動した。すぐに「日本でいちばん大切にしたい会社」の一つにしたいと思ったほどである。
2. 「いい会社をつくりましょう」。これが伊那食品工業の社是である。「いい会社とは、単に経営上の数字ではなく、会社を取り巻くすべての人々が、いい会社だね、と言ってくれるような会社の事です。そこに、いい会社を作る真の意味があるのです」。つまり「いい会社とは、社員自身が会社に所属する幸せをかみしめられるような会社のこと」だと書いてあるのだ。
3. また、この会社の経営理念は、「企業は社員の幸せを通して社会に貢献すること」というものだ。この会社の創業以来、一度もリストラを行ったことがない。伊那食品工業が 50 年もの長きにわたり、発展してこられたのは、まさに社是と経営理念とベースにした経営を、ブレなく続けてきた結果なのである。

(参考:「Voice」2011 年 3 月号)

経営者のための理念・哲学

古典から原理・原則を学ぶ

鎌田 浩毅 (京都大学教授)

1. 古典のよさとは何か。それは、古典を読むことで未来への展望が得られることにある。自然科学では「過去は未来を解くカギである」という言葉があるが、古典にはまさにその力がある。
2. 古典の中には三つの要素が含まれている。その要素とは、①「プリンシプル」(原理・原則)を知る。②物事の「構造」を見る。③次の時代を見通す「視座」を得る、である。古典にはビジネスパーソンにも有用な知恵が詰まっている。ぜひ古典を使いこなしてほしい。

(参考:「週刊東洋経済」:2010 年 12 月 25 日・

2011 年 1 月 1 日号)

経営者のための危機管理

自然の循環を収める人は不況に弱い

東城 百合子 (あなたと健康主幹)

1. 今は社会のシステムがカネ儲け最優先で、それで「不況で大変だ大変だ」と言っているけど、うちは別に大変じゃありません。人様の役に立てるようなことを喜んでやっていたら、皆がお金をくれたがりますよ。人のために喜んでやっていると、必ずいい運が来ます。そしてお金を頂いたら、それはほかのことに回すのです。するとまた応援してくれる人が出てきて、不思議と何とか回っていきます。
2. 縁も自然の大きな循環の中で回っているのです。そういうことは頭や理屈じゃ分からない。頭は自分の都合のいいように解釈してしまいますから、巡ってきた縁を大事にせず、自分の思い通りにしようとして循環を止めたらそこで詰まってしまいます。そういう人は、不況が来たら弱いです。

(参考:「日経ビジネス」2010 年 12 月 20 日・27 日号)

古典に学ぶ

「百忍」で乗り切りたい

「衰さつの景象は、すなわち盛満の中に在り。発生ほっせいの機会きかいは、すなわち、零落れいらくの円うらちに在り一あ。故に君子は安やすきに居おいては、よろしく一心いっしんを操とりて以もつて患わざわいを慮おもんばかるべく、変へんに処しよしては、まさに百忍ひやくにんを堅かたくして以もつて成なるをほかるべし」

(訳) 訳しますと、「下り坂に向う兆きざしは、最盛期に現われ、新しいものの胎動は衰退の極みに生じる。だから君子は、順調なときにはいっそう気持を引き締めて異変に備え、逆境に陥ったときには、ひたすら耐え忍んで初心を貫徹しなければならぬ」となります。

(参考:守屋 洋「リーダーのための中国古典」:日経ビジネス人文庫)